



鶴ヶ島市立新町小学校 学校だより

明日への希望

令和6年9月2日発行

第6号

鶴ヶ島市新町4-25-1

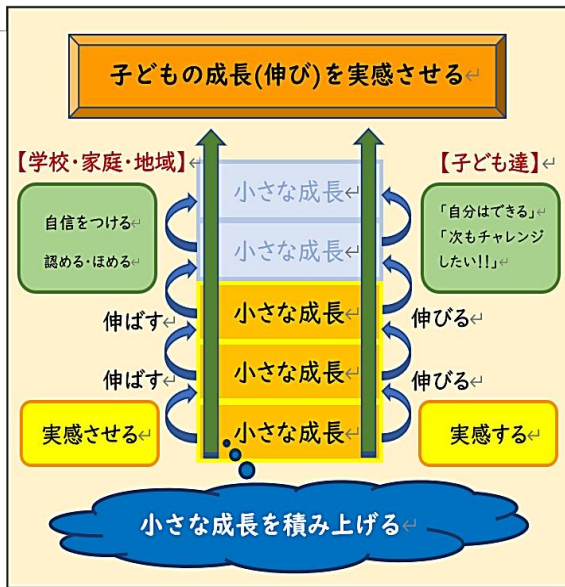
049-285-6598

文責 校長 荒幡 光宏

学校教育目標

かがやく自分へチャレンジ

子どもの成長(伸び)を実感させる2学期



今年はどんな夏休みでしたか。まず、大きな事故やけがなく長い夏休みを終え始業式に笑顔いっぱいの子も達に会えたことを本当に嬉しく思います。きっと、思い出に残る楽しい夏休みだったのではないかと思います。

そして、いよいよ2学期が始まりました。

2学期も学校教育目標の『**かがやく自分へチャレンジ!**』を大切に、自分の得意なことをさらに得意にするように頑張ったり、苦手なことでも、自分のペースでチャレンジしたりする前向きな気持ちをもってほしいです。先生方は、子ども達一人一人の学習面や生活面での小さな成長(伸び)を実感させてあげることができるよう、**認めて・ほめて・自信をつけさせます**。このように、一つ一つを積み上げていけば、

新町小の子も達はきっと、「自分ができる!」と信じて、「次もチャレンジしたい!」という大きな力が生まれてくると期待しています。

子ども達の可能性は、無限大です。ぜひ、2学期も学校・家庭・地域の皆さんと温かい心と心をつなぎ、子ども達の成長をほめて伸ばしてあげ、『**笑顔かがやく最高の新町小学校**』を一緒につくっていきましょう!! どうぞよろしくお願いいたします。

秋の全国交通安全運動



9月21日から秋の全国交通安全運動が始まります。合言葉は「**ピカッと、安全!命を守る早めのライトと反射材**」です。これから夕暮れも早くなります。道路の安全な歩き方や安全な自転車の乗り方等機会を見つけてお話ししてください。

学校でも子ども達への指導を徹底してまいります。また、PTAの地区安全委員さんで実施していただいた自転車点検も自転車を点検しながら親子で話をする良い機会です。ヘルメットの着用、保険の加入を含め、日頃から機会を見つけて大人がよきお手本となりながら、親子で交通安全について話し合ったり、実践したりしていただきますようお願いいたします。



広島市平和記念式典児童派遣事業参加報告会

広島市平和記念式典児童派遣事業参加報告会が、8月24日(土)に西市民センターの集会室で行われ、6年2組の平野 琉人さんが、新町小学校と鶴ヶ島市の代表として立派に発表することができました。戦争の悲惨さと平和の尊さについて、代表として感じたことを次のように発表してくれました。



令和6年度広島市平和記念式典児童派遣事業
参加報告会

原爆の怖さを知って

新町小学校 6年2組 平野 琉人



参加報告会での発表



始業式(リモート)での発表

被爆から79年となる原爆の日。8月6日、8時15分。ぼくは平和記念式典に立ち会った。これまでテレビや写真でしか見たことがなかった原爆ドームと初めて対面した。くだけたレンガやへし曲がった鉄筋がむき出しになっていて、圧とうされた。「こんな恐ろしいことを二度としてはいけない。」と、言われているような気がした。原爆が全てを焼きつくすしゅん間に立ち会ったような気持ちで、体がふるえた。ドームの前を流れる川には、水を求めに来た人の辛そうな声が聞こえるような気がして胸が苦しくなった。

ぼくたちが生まれるずっと前、日本も戦争をしていたことは知っていた。ぼくの曾祖父も戦争で亡くなったと聞いている。でも、その話を曾祖父の子どもである祖父から聞いたことは一度もない。母も聞いたことは無いそうだ。触れたくない、思い出したくない記憶だったのかもしれない。

平和資料館では、服が焼けこげて血が出ている人、すがたがなくなり、かげだけが映し出されている石など、目をおおいたくなる写真や映像に打ちのめされ、心臓がドキドキした。出口にたどり着くころには、つかれはてて、言葉も出なかった。

ぼくは、原爆を体験したわけでもないのに、夜、暗くなって眠ろうとすると、怖くて、恐ろしくて、眠れなくなった。もう見たくないと思った。けれど、二度と同じことがくり返されないように、知っておかなければならないとも思った。

なぜ、戦争なんてするんだろう。一発でこんなひどいことになる原爆をなぜ生み出したんだろう。悲しい、怖い、残こくすぎる…。

ずっと平和がいい。絶対に戦争が起こらないような毎日がいい。罪のない人が死んでしまう、たった一つの命がなくなってしまう、そんな世の中は、絶対にだめだ。そうぼくは強く思った。

平和祈念式典に参加して、毎年ここに集まって、平和の尊さ、命の重みを確認している人たちがいるんだということを知った。

原爆を実際に体験した人の平均年れいは、85才をこえたそうだ。原爆や戦争を知らない人たちがばかりの世の中がすぐそこまで来ている。

次はぼくたちの番だ。今のぼくたちにできることは、何なのか。戦争そのものを直接止めることはできなくても、自分にできることを自分なりの方法で、自分の足元から始めていきたい。戦争や原爆のことを知り、平和への願いを強く持ち続けようと思う。毎日の生活の中で、他の人の考え方の違いを良さと認め、話し合い、分かり合えるようにしていきたい。異なる立場も理解し、どうすれば良い方向に向かうかを考えたい。これからも、周りの人に優しく生きていこうと思う。



9月の主な行事予定

- 3日(火) 連合運動会記録会
- 5日(木) 1・2年虫取り(新町中央広場)
- 6日(金) 3年社会科見学(明治坂戸工場・関水金属)
- 9日(月) 避難訓練(地震・火災)
- 10日(火) 4年社会科見学(東秩父和紙の里・防災学習センター)
- 14日(土) 学校公開日(月曜日課 2・3校時公開)
- 17日(火) 振替休業日(9/14分)
- 19日(木) 1・2年校外学習(埼玉県こども動物自然公園)
- 26日(木) 連合運動会(5・6年) 27日(金) 連合予備日

< 8・9月の生活目標 >

『あいさつ・返事をしっかりしよう』

・進んで元気にあいさつをする

『授業のやくそくをしっかりと守ろう』

・だまって目を見て最後まで話を聞く

